

【全体に関する記入上の注意】

- 別紙事業計画書「2.補助事業を実施する背景・課題」～「3.補助事業内容」において、最大合計10ページ程度の提案内容としてください。
- 文字の大きさは11ポイントで記載してください。
- 以下の観点等により審査を行いますので、十分検討のうえ申請書を記載してください。
 - ・廃棄物等の再資源化施設の中核的技術やシステム等において先導性を有し、モデルとなる事業であるか。
 - ・廃棄物等の再資源化効果が高く、県内への波及効果が見込めるか。
 - ・再資源化事業に伴い発生する環境負荷について、その低減のための十分な配慮がされているか。
 - ・期間内に計画が完了する見込みがあるか。(技術的能力を有しているか、体制が整っているか、工程に無理がないか等)
 - ・カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ(自然再興)にも資する事業か。

交付申請書

再資源化技術高度化支援補助金
記入例

埼玉県知

令和 年 月 日

メールでの提出日を記載してください。

申請者

住所

氏名

押印は不要です。

(法人等にあつては、名称及び代表者の氏名)

埼玉県再資源化技術高度化支援補助金の交付について、補助金の交付手続等に関する規則第4条の規定に基づき、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1 補助事業テーマ名(30字程度) 補助金を活用して実施する事業のテーマを記載してください。
「 」

2 補助事業の概要(160字程度) 概要は写真や図は使用せず、文字で説明してください。

3 補助事業の目的及び内容
別紙事業計画書のとおり。

4 補助対象経費及び補助金交付申請額

補助対象経費

計画書の予算明細表の補助対象経費・
交付申請額とそれぞれ同額になります。

円

補助金交付申請額

円

添付書類

- ・暴力団排除に関する誓約事項（要綱別紙）
- ・廃棄物処理法第14条第5項第2号イからへの各規定に該当しない者に関する誓約書
- ・経営状況表（別紙：法人の場合）又は資産に関する調書（別紙：個人の場合）
- ・補助事業に係る資金の調達計画（別紙）
- ・履歴事項全部証明書（法人の場合）又は住民票の写し（個人の場合）（提出日より3か月以内）
- ・埼玉県内の事業所等に係る事業税の納税証明書（直近1期分）
- ・貸借対照表、損益計算書（内訳として販売費及び一般管理費、製造原価報告書）、株主資本等変動計算書及び個別注記表（直前3年の各事業年度分）（法人の場合）
- ・会社案内（法人の場合）
- ・処理フロー図（設備等導入前・導入後）
- ・対象設備等の図面・構造図・パンフレット等
- ・補助対象施設の処理能力がわかる書類（仕様書・パンフレット等）
- ・事業所内の建物及び施設の配置図（平面図）（設備等導入前・導入後）
- ・主たる設備の見積書の写し
- ・（県内の事業所で廃棄物の処理を業として行う者）それを証する書類（廃棄物中間処分業許可証等）
- ・（県内の事業所で廃棄物の処理を業として行おうとする者）行う予定であることを示す書類（廃棄物処理施設許可証、事前協議の承認書等）
- ・導入する設備等に関する必要な許認可等の書類
- ・補助事業計画を説明する参考資料がある場合は当該資料

令和 年度埼玉県再資源化技術高度化支援補助金事業計画書

1 申請者の概要

申請者	名称 (会社名)			
	代表者 役職・氏名			
	本店所在地			
	資本金・出資金	_____万円	従業員数	_____名 (役員数_____人)
	設立年月日	和暦 年 月 日	業種	廃棄物処理業、製造業など
	主な事業内容	プラスチックの再生など、具体的に記載してください。		
補助事業の実施場所	名称	工場名等を記載してください。		
	所在地	住居表示で記載してください。		
	主な事業内容	プラスチックの再生など、補助事業の実施場所における主な事業内容を具体的に記載してください。		
	主要設備	既存の設備を記載してください。 プラスチックの破碎・溶融設備など		
	処理状況	【直近1年間の廃棄物等の処理量】 t/年 【直近1年間の処理により得られたリサイクル材の量】 t/年		
連絡担当者	所属名		電話	
	職氏 名名		E-mail	
	連絡先住所 (郵送先)	〒		

2 設備等を導入する背景・課題

設備等を導入する背景とその背景から解決すべき課題について、廃棄物等の処理業界の現状等を踏まえて記載してください。

ア 背景

- ・事業を実施する背景等について、記載してください。
- ・可能であれば、リサイクルできていない廃棄物の量などを定量的に記載してください。（県内の量が記載できない場合は、国内の量など把握している単位でも可）
- ・必要に応じて、図・写真等を挿入してください。

イ 解決すべき課題

（補助事業の実施により解決できる課題について記載）

- ・今年度の本補助金の補助事業の実施により解決できる課題について、記載してください。
- ・必要に応じて、図・写真等を挿入してください。

3 補助事業内容

(1) 導入する設備等の内容

どのような事業を行うのかについて具体的に記載してください。必要に応じて図、写真等を挿入してください。

① 処理する廃棄物等における発生からリサイクル製品が利用されるまでのフロー…別添

② 導入する設備等の詳細

- ・主たる設備等の名称 ()
- ・主たる設備等の型番 ()
- ・主たる設備等の処理方法 (破碎・圧縮等) ()

③ 導入する設備等の構造図等…別添

④ 導入する設備等で処理する廃棄物等

- ・廃棄物・有価物の別 (どちらか、または両方を選択してください)

廃棄物

※事業実施に必要な廃棄物処理法等の許認可の手続き状況 (有の場合、具体的な内容)
()

有価物

事前協議終了、処理施設の許可取得済、軽微変更届で対応
など、記載してください。

- ・廃棄物等の種類 (代表的な種類を具体的に記載してください、複数回答可)

(容器包装プラスチック(ポリプロピレン、ポリエチレン)、食品残渣、金属(アルミ、鉄)など)

⑤ 導入する設備等の目標とする処理量

t/日、 t/年 (処理能力説明資料は別添)

⑥ 導入する設備・仕組み等の先導性

主に資源循環に関する技術の先導性を記入してください。
必要に応じて、図・写真等を挿入してください。

⑦ 導入する設備・仕組み等の県内への波及効果 (モデルとなり県内への波及が見込まれる設備等であるか)

県で排出量が多い廃棄物を処理する、現状処理が困難な廃棄物を処理するなど、
県内への波及効果が見込まれるポイントを記入してください。

⑧ 設備等の導入効果

(リサイクル材の製造量(販売量)の増加量や品質の向上効果、リサイクル材の製造量や品質向上等による収益増加などのサーキュラーエコノミーに資する効果のほか、CO2削減効果、生物多様性への影響効果など)

・収益性について、具体的な計算は⑩にお願いいたします。
・資源循環の取組は、カーボンニュートラルやネイチャーポジティブ(自然再興、生物多様性の損失を止め、反転させる)にもつながるものも多いと考えられており、これらの視点でも事業の効果を説明できる場合は、記載してください。
カーボンニュートラルの例…焼却されている廃棄物が資源として回ることによってCO2排出量が減少するなど
ネイチャーポジティブの例…天然資源(バージン材)の利用が抑えられ、天然資源の採掘が抑制され生態系の保全につながるなど

⑨ 導入する設備等を利用して製造されるリサイクル材の概要(素材、利用目的など)

リサイクル材の特長を記載してください。
他社の従来製品との比較などできる場合は記載してください。

⑩ 導入する設備等により製造されるリサイクル材の販売計画

リサイクル材の種類	主な販売予定先	販売予定量(t/年)
	販売予定先は、会社名のほか業種等でまとめることも可能です。	

⑪ 導入する設備等の稼働に伴う収益性

・収益性について、具体的な計算をお願いします。
1年間の稼働を想定して記入してください。

⑫ 設備等を導入するにあたっての環境負荷対策(騒音、振動、粉塵対策等)

⑬ 事業所の平面図…別添

(2) 補助事業実施予定期間

交付決定日以降 ～ 令和 年 月 日完了（予定）

補助事業の完了は、令和7年2月末までをお願いします。